



# 上教大サイコー!!

同じ夢に向かって  
頑張っている仲間が  
周りにいる

## アメリカでの経験

私は、今年の3月に海外教育研究Bという授業で約2週間アメリカへ行ってきました。現地の小学校の観察や授業実践、アイオワ大学との交流、ホームステイ、文化研修など今までにない貴重な経験をたくさんすることができました。メインの授業実践に向けては、約半年前からグループの仲間と準備を進めてきました。全て英語ですし大変なこともたくさんありましたが、先生方の丁寧なご指導や協力してくれた仲間のおかげで満足のいくものが出来上がりました。そしてアメリカに行き、日本以外の教育の現場を実際に目でみて感じることは自分の教育に対する視野を広げ、たくさんの気づきと学びを得ることにつながりました。

3年生の私はこれから教育実習を控えています。この海外教育研究での経験や学びが、生かされると確信しています。これから参加を考えている方がいるのであれば、ぜひお勧めしますよ。忘れることのできない夢のような2週間となりました。

## たくさんの出会い

上越教育大学に入学して早いもので今年、3年目となります。そして私はクラスやコース、部活などを通じてたくさんの人に会いました。今の私の大学生活が充実しているのは、友達や先輩、後輩がいるからです。一緒に楽しい時間を過ごすことはもちろん、悩んだときにはいつも助けてもらっています。また自分が教職を目指す上で、同じ夢に向かって頑張っている仲間が周りにはとても心強いです。これから大変なこともたくさんあると思いますが、そんなときはお互いに助け合い、高め合いながら乗り越えていこうと思います。そして残りの大学生活を今まで以上に充実させていきたいです。



学部3年  
臨床心理学コース  
萩野 ひかる さん



# 研究室

## へようこそ

### 上教大の状況論ゼミ

ゼミでは、私の専門の教育心理学、なかでも状況論の学習論にベースをおいて研究指導を行っています。状況論の学習論とは、学習を関係論的にとらえる比較的新しい学習の見方です。ふつう「能力」は個人に帰属されるものですが、状況論では「個人の能力」を個の中に閉じず、社会的な関係として描きます。

例えば、私が「自宅から大学まで車を運転する」ためには、私が運転の技術をもっているだけでは十分ではありません。まず車そのものが必要ですし、道路のインフラ、全国どこでもガソリンが手に入るというエネルギー供給システム、交通法規、運転免許制度、私に車の運転の仕方を教えてくれた人などがあって初めて成り立つものです。

このように考えると、「個人の能力」はその力が発揮される状況と切り離せないことがわかります。学習を「個人」よりも広い単位で、人やモノとの関係性の変化としてとらえようというのが、状況論の基本的な考え方です。

### 教育研究と授業

大学院では「学習臨床支援特論」という科目を担当しています。「学習」の見方が変われば、当然支援の方法も異なってくると思います。この授業では、ふだん当たり前に使っている「学習」という言葉の意味を、行動主義、認知主義、状況論という3つの視点からとらえます。講義で得た見方や考え方を使得って、子どもの学びについて話せる仲間づくりをすることが目標です。授業は自分の研究が試される場でもあるので、授業の前はいつも少し緊張します。

### 都会の人こそ上教大へ

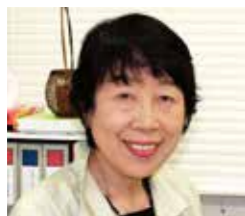
上越はとても田舎です(笑)。大学前を通るバスは1時間に1本だけ、夜8時を過ぎれば町から人が消えてしんと静かになります。冬は雪がたくさん降って、生活するだけで大変です。なぜこんなところに大学をとほやきたくなりますが、逆にこれが上教大のよさだとも思います。都会の当たり前が通用しない状況に直面すると、あの便利さがいかに人工的に成り立っていたのかを思い知らされます。都会に生まれ育った人にこそ、学生時代の数年間を上越で過ごしてほしいです。

つくられる、心

「つながり」によって

城間 祥子(しるま しょうこ) 学校教育学系 講師  
筑波大学第一学群人間学類卒業、同大学院人間総合科学研究科心理学専攻単位取得退学。愛媛大学教育心理学支援機構教育企画室助教を経て、平成23年12月に本学着任。専門は教育心理学。現在の研究テーマは、学校教育における伝統文化の学習の組織化。ゲストティーチャーと連携して行うワークショップ型の授業や、伝統文化の教育に関心がある。

## 教員就職を強力にサポート!



**伊藤 みさ子** [キャリアコーディネーター]  
 社会への新たな一歩を目指してひたむきに取り組む学生・院生さんから、日々、元気をもらっています。就職活動は自己理解から始まります。自分のよさや強みに気付いたり、努力を積み上げることで変わる自分を発見したり。「継続こそ力なり」。一緒にがんばりましょう。



**伊野 啓一** [キャリアコーディネーター]  
 Q:「10年後のあなたは、何をしていますか。」  
 A:「教師として子どもと共に笑い、共に汗を流しています。」  
 ある日の面接練習の一コマです。今からこんな思いを抱き、堂々と述べる学生はきっとよい先生になることでしょう。皆さんの夢を応援します。



**清水 哉子** [キャリアコーディネーター]  
 論文も面接も、「地道にこつこつ」取り組めば、必ず上達するものです。これまでの多くの学びを整理し、効果的にアピールできるようお手伝いします。日本のどこかであなたを待つ子どもたちのために、頑張りましょう。



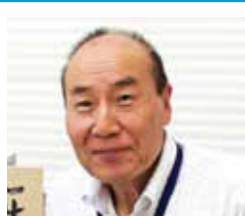
**高橋 守** [キャリアコーディネーター]  
 「論作文、つらい。」昨年のKさんのつぶやき。それから半年後、5月のある日。「Kさん、この論作文、絶品だよ。昨年の文章からは考えられない。ナイス!」……これが、今の私の最大の喜びです。何事も続けていると、予期しないことが本当に起こります。



**竹田 幸雄** [キャリアコーディネーター]  
 「先生 合格しました!」と満面の笑顔の報告。それは私にとっても至福の時です。論文を書き上げるために、資料にあたり何度も推敲する。この地道で難儀な作業が、教師になるための成長を促します。一緒に悩み、苦しみながら、栄光を勝ち取ろう。



**陸川 洋** [キャリアコーディネーター]  
 「初心忘るべからず」という言葉があります。教員になろうと思ったときの志を忘れないで大学生活を送っていますか。学び始めたころの、謙虚で緊張した気持ちを失わないでください。面接や論文はそんな皆さんの「こころ」をみます。頑張ってください。夢を実現させましょう。



**浦井 幸夫** [キャリアコーディネーター]  
 教育の第一義は子どもの夢や志を育むこと。教師を目指す人には、視野を広げ、経験を重ね、人間力を磨いてほしいですね。Pプラ活用はその一つです。気軽に訪ね、教育や人生、趣味、……語り合しましょう。求めよ、然らば与えられん。

**5 その他**  
 ポータルサイトからの教員採用試験学習支援システム、メールによる情報配信、ジョブアドバイザー(各県から派遣された現職院生による就職相談など)もあります。

**2 キャリアコーディネーター**  
 指導力抜群の論文・自己PR文の添削・面接・集団討論・模擬授業の練習など、校長経験のある大ベテラン7名が一人一人の学生に応じて手厚く指導します。1回30分、早め予約を。

**1 豊富な資料**  
 各都道府県市の要項・願書、過去問、情報誌、参考書、問題集、講座ビデオなどのほか、先輩がメモした生々しい受験報告書がファイルに綴られています。必見。

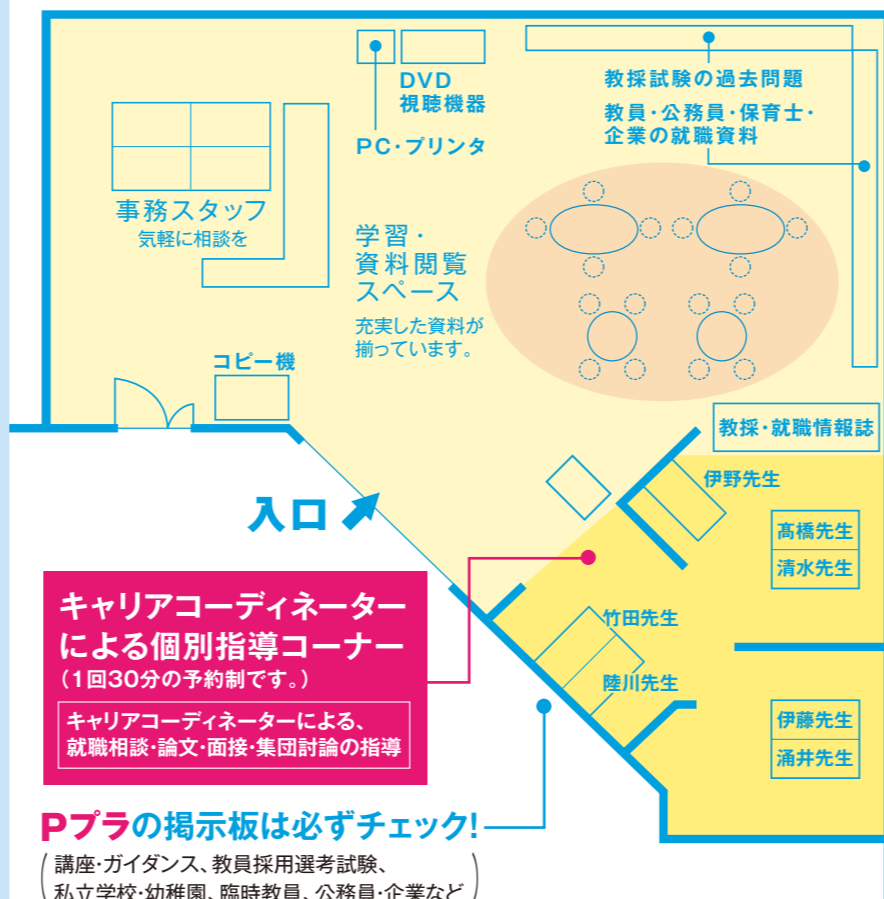
**5つの特長**  
 卒業・修了した多くの先輩がPプラ(プレイスマントプラザ)のお世話になりました。Pプラに通った回数と、教員採用試験の可否には高い相関関係があります。そのPプラの特長を列記しましょう。

**3 経験豊かな専門スタッフ**  
 各都道府県市の教員採用試験に関する情報や求人情報など、4名の事務職員が有益な資料等を提供し、親身になって支援しています。お気軽に相談を。

**4 充実した就職支援プログラム**  
 教員採用試験対策講座、就職ガイダンス、学内模試 各県市担当者による説明会、受験者激励会、合格体験発表会など充実したスケジュールが組まれています。ぜひ参加を。

元校長が、手厚く支援・指導します!

プレイスマントプラザは、充実したスタッフと多様なプログラム、豊富な資料で進路・就職をサポート。「Pプラ」の愛称で呼ばれています。



皆さんも積極的にPプラを利用してください。

プレイスマントプラザ室長 廣瀬 裕一

# 徹底活用!! Pプラ

ぜったい先生になりたい人 必見!

上越教育大学は、教員養成を目的とした大学・大学院です。近年の教員就職の状況は、関東・近畿などの大都市圏では大量採用が続き、地元の新潟県をはじめ、全国的にも採用人数が増加する傾向が見られます。また、教員採用試験の受験者数は全体としては若干減少しており、合格のチャンスは広がっていると云えます。

その一方で、教員を採用する側としては、人間性を重視し、高いレベルの資質・能力が求められていることに変わりはありません。「プレイスマントプラザ」ではきめ細かな就職支援の取組みにより、教員採用試験合格という夢の実現をともに目指しています。

# Q&A

## 利用者の声を聞いてみよう

**Q** プレイスメントプラザには、採用試験の参考書や雑誌、各都道府県の教員採用試験の資料など情報がたくさんあります。私はそれらを使って、自分が受ける自治体の傾向をつかみ、それをもとに勉強することができました。

**A** また、論文や面接の指導をキャリアコーディネーターの先生からしてもらえます。指導をしていただくと、自分の考えが深まったり、今まで知らなかった知識を新たに加えることができます。毎週継続して行うことで、自信をもてるようになります。



学校教育学部 教科・領域教育専修 自然系コース(数学)  
4年 中嶋 杏邑夢さん

## 実際に利用してみても、「Pプラ」はどうですか？

**Q** 文章を書くことに苦手意識がありません。しかし、Pプラでの論文指導を通して、自分の書く文章に自信が持てるようになり、自分の軸を持てるようになりました。

**A** また、Pプラには各自治体の過去問や教育関連の雑誌など、様々な資料があります。Pプラは、教師になる準備ができる場所です。これからは積極的に活用していきたいです。



大学院 芸術系コース(音楽)  
2年(免P) 佐藤 菜摘さん



教職大学院 教育実践リーダーコース  
2年 田中 翔大さん

**Q** プレイスメントプラザは、教採に向けて主体的に学べる場です。私は、頻りに通うようになっています。教採に関する情報をチェックできますし、資料も充実しています。

**A** さらに、キャリアコーディネーターの先生から論文指導や面接指導を受け、対策をしっかりと行えるので、必ず週1でお願しています。先生も受験する自治体について情報収集してくださり、色々な人の力を借りながら頑張ろうと思える場所です。

プレイスメントプラザは最初入りにくいかもしれませんが、私も、新聞を読みに行くことで徐々に通うようになりました。是非機会を見つけて利用してみてください。

# 就職支援プログラム

## 教員採用選考試験対策講座

民間のノウハウを活用し、教採にのぞむための心構え、学習方法から、教職教養、一般教養などの筆記試験対策まで、段階に応じた対策講座を開講しています。



## 就職試験激励会

就職試験を受験する学生に対して受験の健闘を願い、受験に向けた準備をねぎらう大学主催の激励会を毎年実施しています。



## 直前実技指導

教員採用試験で課されている実技検査対策として、体育分野の各種目、音楽実技、理科実験について教員採用試験の直前指導を行っています。



## 模擬面接指導

面接試験は受験者の言動及び態度を通じて、直接的に知識、性格特性、適格性、価値観、人生観等を総合的に評価するものです。キャリアコーディネーターの指導を繰り返し受けることにより、試験を突破する実力が身につきます。



## 就職支援年間プログラム

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学部1年次	・新入生合宿研修「就職指導」											
学部2年次								・就職キャリア相談				・教採応援井戸端カフェ
学部3年次												
大学院1年次												
学部4年次												
大学院2年次												

**教員採用選考試験対策講座 (基礎編)**: 4月 - 7月  
**教員採用選考試験対策講座 (実力養成編)**: 10月 - 12月  
**直前講座・直前実技指導・直前模擬面接**: 6月 - 8月  
**就職試験激励会**: 6月  
**就職活動ガイダンス・公務員試験ガイダンス**: 7月  
**就職試験合格発表**: 10月  
**臨時教員希望者説明会**: 11月  
**就職内定・教採試験等受験状況調査**: 12月  
**教採出願期間**: 4月  
**教採1次試験**: 5月  
**教採2次試験**: 6月  
**教採合格発表**: 10月  
**卒業生・修了生 進路・就職状況調査**: 3月

上越はラーメン屋さんの激戦区!  
この夏は上教大周辺のラーメン屋さん  
めぐりをしては!?

じょうえつ

# ラーメン

特集

## 上越家

直江津バイパス

住 上越市下源入173-4



濃厚な豚骨醤油味のスープ  
がちょっと太めな麺と相性拔  
群です。トッピングのチャー  
シュー、菜っ葉、のりも味が  
染み込んでいておいしい!  
おいしそうな香りが食欲を  
引き立ててくれます!

並盛ラーメン

豚骨系

## 麺屋 しょうじ

上越大通り

住 上越市栄町7-11



魚介系 & 動物系

赤こってりらーめん  
(期間限定です)

## こってりらーめん Gita

上越高田インター近く

住 上越市中田原153-2



背脂系

お店おすすめのみそラー  
メンは背脂多めでいただい  
てきました! こってり味が苦  
手な人でもおいしくいただ  
ける味です! 上越に来たらぜ  
び一度ご賞味あれ!!

みそラーメン



らーめん



特製らーめん



チャーシューめん

## 編集後記

初めての取材にかなり悪戦苦闘しましたが(笑)、おいしいラー  
メンと優しい店主さん方との出会いに...良い経験となりました!  
この企画で皆さんのお気に入りラーメンが見つかりますように☆  
ご協力いただいたお店の方々、ありがとうございました!



動物系と魚介系のスープ両  
方があります! どちらも「こ  
ってりは苦手...」という方  
でもおいしくいただける絶  
品の味!

# 上越アドベンチャーサークル JAC

## いろいろなことに挑戦できる場所

私たちは、上越アドベンチャーサークル JACです。JACは、月に1回程度のレクリエーション研究会や、秋・冬には妙高青少年自然の家や赤倉野外施設へ行き、合宿を行いキャンプや雪上活動を行っています。また、子どもを対象にした活動のボランティアをしたり他の大学生との交流会に参加したりと様々な活動を行っています。

レクリエーションをみんなでやって何が得られるのかと感ずる方も多いかもかもしれません。しかし、レクリエーションを通して、相手と今までよりもっと深くかかわることができ、時には相手の知らない一面を見ることもできます。

レクリエーション研究会では、様々なレクを試し、覚えます。子どもたちとのキャンプで覚えたレクを行うと、ただお話をするよりも自然にお互いの距離が近くなるこ



とがあります。

また、子どものキャンプや野外活動のボランティアに参加するなかで、危機管理を学んだり、子どもとどのように接したら良いのか、考え、失敗したり、沢山喜びを分かち合いながら次のステップへと成長することができます。

JACは、全員で29人いますが、大学に入って多くの子どもと関わり、勉強していくうちに、もっとボランティアに参加したい!もっと実習や教員になってから使えるようなレクリエーションを知りたい!と感じ、2年生以降からJACに入った学生も多くいます。このようにJACは、全員が会う回数は少ないですが、それぞれが目標を持ち、1回1回の活動を大切にしながら楽しく元気に活動しています。



### DATA

平成27年6月現在  
部員数/29人  
活動日/月に1回程度  
活動場所/  
2講202、国立妙高青少年自然の家、赤倉野外施設  
活動実績/  
レクリエーション研究会、秋合宿、冬合宿、子どもキャンプのボランティア など

### 【取材協力者】

学部3年 社会系コース  
新家 加世子

## 男子ソフトボール部

### 部員のほとんどがソフト初心者!!

男子ソフトボール部は部員約20名で、毎週金曜日と日曜日に活動しています。毎月定期的に練習試合を行い、大会では打ち勝つソフトができるように頑張っています。部員の中には、ソフトボール経験者は1人しかいませんが、中学・高校まで野球をやってきた人はもちろん、野球経験が全くない人も活動に参加しています。また、練習日が週2回と少ないため、兼部をしている人も部員の中には多くいます。

### 日々の練習では…

基本的にはノックやフリーバッティングといった全体練習を行い、その後個人練習を行っています。全体練習では学年に関係なく、お互いに指摘しあいながら1つ1つのプレイを高めています。また、個人練習では1人1人が目標を持ち、目標達成を目指して取り組んでいます。部員全員が明るく、元気に取り組んでいるため、毎回活気のある練習になっています。

### 男子ソフトボール部の魅力

男子ソフトボール部は指導者がいないため、自分たちで練習メニューを考え、自分たちで指摘しあいながら、技術を高めています。練習試合や大会でその成果を出せたときには、とてもうれしく、この部員で良かったと実感することができます。また、みんなで食事に行ったり、遊びに行ったりなど練習以外でも楽しみや喜びを実感することができます。こういったことを実感できるのが男子ソフトボール部の魅力であり、多くのメンバーと分かち合いたいと思っています。一緒にソフトボールやりたい人大歓迎です。お待ちしております!!



### DATA

平成27年6月現在  
部員数/プレーヤー 20人  
マネージャー 2人  
活動日/毎週金曜日と日曜日  
活動場所/グラウンド  
参加大会/  
全日本一般男子ソフトボール大会、北信越一般男子ソフトボール大会、上越大会

### 【取材協力者】

学部3年 社会系コース  
杉本 圭志



## 上越教育大学 附属幼稚園

# 遊び込む子ども



## お知らせ

ぜひおいでください。

### 木曜園庭開放

毎週木曜日

14:30~16:00

(園庭と森を開放します)

\*夏休みとお正月以外は毎週実施

### 園開放デー

8月29日(土)、1月24日(日)

両日とも9:00~11:00

(園内でも外でも遊べます)

### 幼児教育研究会

月日/10月7日(水)

テーマ

### 遊び込む子ども

東京大学大学院教授  
秋田喜代美先生のご講演も  
あります。

研究紀要(25・26年度分)を  
発行しています。



自然豊かな環境の中で、  
子どもの主体的な遊びを大切に  
している幼稚園です。

附属幼稚園は、「遊び込む子ども」の基盤に着目して「をテーマに研究を行っています。三年目の今年には、遊び込む姿から見える育ちを探究中です。幼児にとって「遊びは学びそのもの」です。豊かな環境の中で、思う存分、たっぷり遊びながら物事にかかわる意欲や人を思いやる気持ちなど「生きる力の基礎」が育まれています。ぜひ一度、おいでください。

**園のようかん**

- ◆園のすぐ裏は森。緑の小道や子ども広場で思いっきり自然と親しめます。
- ◆サッカーや自転車乗りができる広いグラウンドがあります。
- ◆メダカやオタマジャクシがいる池もあります。
- ◆保護者手作りの遊具や絵本や大小積み木もいっぱいあります。
- ◆愛情とやる気に満ちた職員が、毎日笑顔で子どもと遊んでいます。

\*緑の小道：本学キャンパス内には、かつて人々の生活の場だった里山が広い緑地として保全されています。その緑地内に自然探索路「緑の小道」を整備し、自然環境学習に利用しています。



水戸陽子PTA会長



みどりちゃん



なあに?



修了生からの  
お便り



## 理科教育センター協力員として 果たすべき役割

新潟県の現職派遣として自然系コース理科に在籍させていただき、物理・化学・生物・地学・理科教育に関する専門的な知識や教育法を先生方から丁寧に教えていただきました。また、地域の自然を素材とした野外実習では、直接自分の目で見て、手で触れ、感じるなどの体験的活動を通して、フィールドにおける指導法を学ぶこともできました。さらに、質の高い理科教員を目指すためのCST（コア・サイエンス・ティーチャー）養成プログラムも受講し、社会教育施設・新潟県教育委員会・理科教育センターにおける実習や授業実践研修を通して、現場で求められる実践的な指導力を身に付けることができました。このような充実した2年間を過ごさせていただき、理科の指導に対する自信が高まったと実感しています。

現在、私はCSTの資格を生かして、上越市立春日中学校の教員と上越理科教育センターの協力員を兼任しています。

午前中は理科教員として生徒を相手に授業を行い、午後は理科教育に関する研修会を企画・実施して、参加される先生方と一緒に理科の指導力を高めています。研修会で使うテキストの作成や児童生徒に有効な教材・指導法の開発は大変ではありますが、参加された先生方から「とてもためになり、参加して良かった。」「明日からすぐにでも使いたい。」などという感想をいただいたときは本当にやりがいを感じます。今後は、CSTとして資質をさらに高めるとともに、大学院で学んだことや他の地区理科教育センターとの連携で得られた知識を新潟県の理科教育に還元できるように努力していきたいと思っています。



八木 純  
(やぎ じゅん)

新潟県上越市出身。新潟県内の公立中学校で15年の勤務を経て、教科・領域教育専攻自然系コース（理科）へと進学し、平成27年3月修了。CST（コア・サイエンス・ティーチャー）養成プログラムを受講し、認定。現在は上越市春日中学校に勤務するとともに、上越理科教育センターの協力員として、小・中学校の教員を対象に数多くの研修会を実施している。



## 上教大 なんでも掲示板

### 北陸新幹線「上越妙高駅」開業記念イベントに「マナーブ・デ・ジョーキョー先生」が登場

平成27年3月14日(土)、15日(日)に開催された「上越妙高駅開業記念イベント」で本学イメージキャラクター「マナーブ・デ・ジョーキョー先生」の着ぐるみをお披露目しました。

イベントには県内外から約85,000人が訪れ、駅の自由通路にマナーブ・デ・ジョーキョー先生が登場すると、たくさんの方のカメラのフラッシュを浴び、歓声に包まれました。

また、マナーブ・デ・ジョーキョー先生は「ご当地キャラ大集合」に参加し、上越のご当地キャラとともにイベントを盛り上げました。

当日は「出張! 学びのひろば」として「わくわくソリ作り」、「わくわくスライム作り」等のブースを出展し、イベントに来場した小学生に楽しんでもらうとともに、上越教育大学をアピールしました。



### 上越教育大学出版会から初の書籍 『教育管理職のための法常識講座』を刊行

平成27年4月24日(金)に上越教育大学における研究内容・成果の公開を促進し、我が国の学術・教育・文化の振興に寄与することを目的として設置された上越教育大学出版会(会長・佐藤学長)から、最初の書籍を刊行しました。

書籍は生徒児童間の事件の概要、裁判所の判断を整理し、学校側の判断の是非や被害の予見可能性、人権侵害行為への対応の在り方等を確認できる内容であり、全国の学校現場で生かされるとともに研修資料としても期待されます。



発売日前日に天野副学長と梅野教授による記者発表を行いました。

■書名  
『教育管理職のための法常識講座』  
～判決に学ぶ「いじめ」「体罰」「ネット」「虐待」「学級崩壊」への対応～

■著者  
梅野正信大学院教授  
■発売  
エイデル研究所

## 夏に鍛える

キャンパス内の緑が濃くなり、草や木からも生きる力を強く感じる頃となりました。夏は、スポーツや文化系のサークル、ゼミなどの合宿が盛んです。寒い冬に比べ体が活性化して、集中的に力をつけよう鍛えようとする気持ちになるのは、自然のことなのかもしれません。

夏河を越すうれしさよ手に草履 蕪村

橋がなくて素足で水に入り、川を渡っているところでしょうか。それとも、暑いのでわざわざ水の中に入り、川越えをしているところでしょうか。いずれにしても、冷たい水に足を入れた心地よさが伝わってくるようです。川の中で遊んでいる人を眺めたりしても、水の冷たさは想像できます。頭の中で想像すること、考えることは大変重要ですが、実際にやってみると考えていたことと全く違うことも多いものです。水の中に入ってこそ、水の冷たさを感じることができるのではないのでしょうか。教員として身につけるべきことは多様です。その全てを実際にやってみることは不可能でしょう。しかし、できるだけ多くのことを体験するようにしたいものです。夏は、そのために絶好の季節です。

夏は衣服などが少なくて良いことや、まとまった時間が取れることが多いので、見知らぬ土地、行きたい町などを訪れるにも良い季節です。30数年前の夏、九州北部を旅したことがありました。急行や普通列車を乗り継いで長崎まで行き、島原からフェリーで熊本に渡り、阿蘇山を横断して別府まで、別府からフェリーで瀬戸内海を横断して大阪に着き、大阪からはまた電車で帰ってきました。その後、調査や会議で数え切れないほど九州を訪れましたが、初めての九州旅行はいまも鮮明に記憶に残っています。

教員としていろいろな経験を積むことは大変重要です。教員にとって不必要な経験は全くないと言っても過言ではないでしょう。様々な知識や経験をより確かなものとし、自分の能力として活用できるように、自分で考え実行に移すことが大切です。本学では、これまでも思考を活性化し自ら学ぶ学習形態である、アクティブラーニングをできるだけ多くの授業で取り入れてきました。これからも、さらに充実していこうと考えています。皆さんも自信を持って学び自分を鍛え、夏の終わりには心も体も一層たくましくなって欲しいと願っています。

学長 佐藤芳徳



このたび、平成27年度上越教育大学大学院同窓会評議会(7月11日)において、俵山晴雄会長の後を引き継ぎ、同窓会長を仰せつかりました。平成4年3月、教科・領域教育専攻社会系コースを修了いたしました。浅学非才な私ですが、本会のますますの充実発展に向けて取り組む所存ですので、会員皆様のご支援ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

さて、評議会の直前に行われた「大学と学部同窓会及び大学院同窓会との連携協議会(平成26年3月設置)」の席上、佐藤芳徳学長が、法人化後約10年が経過した現在の上越教育大学の現状と、大学を取り巻く状況について話されました。

国の財政悪化による運営費交付金の年々の削減、3年連続の定員割れ等々大変厳しい状況にあり、平成28年度から始まる第3期中期目標期間(平成28年度～平成33年度)に向け、上越教育大学の生き残りをかけて実効性のある改革が急務であり、大学と同窓会との連携強化を図っていかねばならないと熱く語られました。そして、大学と同窓会との連携強化に向けた具体的検討を行うためのワーキンググループの設置を提案されました。大学院同窓会は、こうした上越教育大学からの期待、要請に、危機感をもって、力強く応えていかねばならないと思っております。

これまでの大学院修了生は、約7000名に上ります。修了生一人一人が本学大学院での多くの貴重な体験をもとに、その後充実した教職生活を送って

## 同窓会長就任のご挨拶

おられることと拝察いたします。また、地元に戻られてから、同窓会支部組織の中で活発な活動を進められているとお聞きし、敬意を表するところであります。しかし、年々支部幹部の高齢化や支部会員の減少が叫ばれているのも実情です。

これらの幾多の課題を抱えた同窓会ですが、大学院生と現職会員の研究活動を支援しつつ、同窓会組織の課題解決に向けて取り組んでまいります。最後になりましたが、会員皆様のますますのご活躍を祈念申し上げ、就任の挨拶といたします。

上越教育大学大学院同窓会  
会長 井澤 文夫  
(上越市立高田幼稚園長)



### 修了生の住所等をお知らせください

転居・転職・結婚等により個人情報の変更があった場合は、お知らせください。  
詳細については、公式ホームページをご覧ください。

上越教育大学 同窓会 検索

お問い合わせ先 上越教育大学大学院同窓会事務局  
E-mail:dousoukai@juen.ac.jp





# インタビュー 大学院で輝く人

## 大学院進学のかきかけ

大学4年の頃、母校の高校に教育実習に行きました。指導教員は私が高校生ときからよく知っている先生で、その先生のもとで実習をしていく中で、自分の教育に対する姿勢や考え方の甘さを痛感しました。どんなことにも自分から挑戦していた高校時代と違い、失敗することを避けて何事にも挑戦できていない自分に気付かされました。進路について悩んでいましたが、この実習を経て新たな気持ちで自分の将来と向き合ったとき、教育について深く学びたい、挑戦したいと思い大学院への進学を決めました。

## 刺激的な院生生活!

大学院での生活で感じることは、学生がそれぞれ多様な経験をしてここに集まってきたという事です。大学を卒業してきた人、現職派遣教員、他の職種で働いていた人など、異なる環境で過ごしてきた人たちと同じ講義を受け、活動したり考えを共有したりする毎日はとても刺激的です。休日には海や温泉に出かけて、日本海側の地域ならではの過ごし方でリフレッシュしています。

## 周りにいる人への感謝

自分だけの力では、このような刺激的な環境で学ぶことはできません。幅広い分野の先生方や、同じ目標を持って切磋琢磨する仲間、そして応援してくれる家族の存在に常に励まされることで、自分の目標を見



大学院3年(免P)  
社会系コース  
宮下 早智さん

失うことなく院生生活を送ることができています。教師になることで、そういった周りの人たちへの感謝を伝えていければと思っています。そして、「挑戦する気持ち」「感謝する気持ち」の大切さを子どもたちと一緒に考えていきたいです。

## 免P = 教育職員免許 取得プログラム

本学大学院修士課程の入学で、教員免許の取得を希望する人を対象として、長期履修学生制度を利用し、3年間で大学院の教育課程と学部の教員養成カリキュラムの単位を修得することにより、教員免許状取得の資格を得ることができるプログラムです。



■ 聞き手・文(写真左より)  
大学院3年 社会系コース 田中 三智  
大学院2年 社会系コース 井上 みどり  
(中央・本人)

大学院2年 社会系コース 白露 寿美  
大学院2年 社会系コース 内山 萌子

## インタビューを終えて

今回のインタビューでは、「社会系女子会」と銘打って宮下さんにインタビューをしました。社会系コースは全員で34名の大所帯ですが、女性はその中の5人しかいません。宮下さんはそんな社会系のまさに看板娘!という感じの、優しく華やかな雰囲気のある人です。男性が多い

社会系コースでは、彼女のように、時に緊迫した場を和らげてくれる存在は、熱くなりすぎずに合意形成をさせてくれる点で、同輩としてとてもありがたいです。これからM2もM3も修士論文や学会運営に忙しい時期になりますが、切磋琢磨しながら頑張っていこうと思います。



アンケートにご協力ください  
公式ホームページにおいて本誌に関するアンケートを実施しています。左のQRコードを読み込むことで、携帯端末からでもご回答いただけます。  
QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。



JUEN 上越教育大学学園だより  
2015 夏 No.31 (平成27年7月発行)

編集・発行  
上越教育大学情報・広報委員会  
デザイン・監修  
安部 泰  
(芸術・体育教育学系 准教授)  
制作  
株式会社桐朋

お問い合わせ先  
上越教育大学広報課  
〒943-8512  
新潟県上越市山屋敷町1  
TEL 025-521-3626  
FAX 025-521-3627  
E-mail kouhou@juen.ac.jp  
URL <http://www.juen.ac.jp/>  
公式ホームページから、バックナンバーの閲覧ができます。



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

※本誌掲載の文書・記事・写真等の無断転載はお断りします。